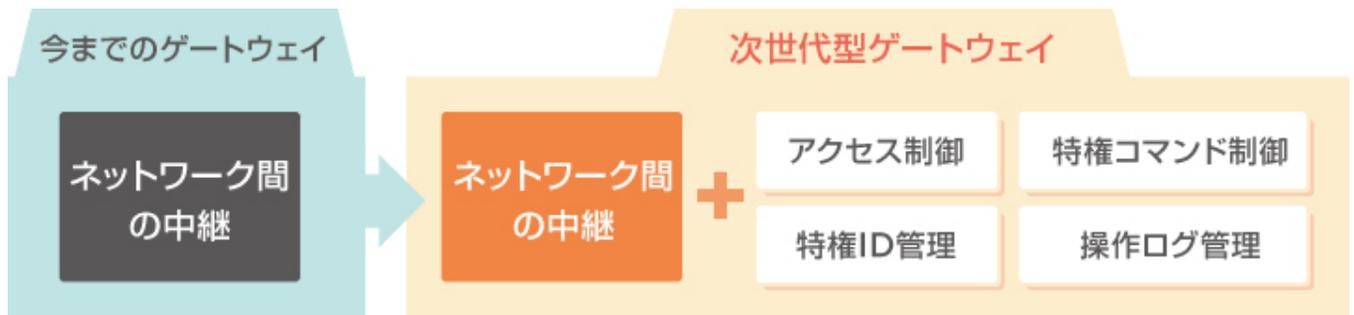


SMART GW Desktop Proxy

～次世代型セキュアゲートウェイソリューションでセキュリティを強化～

SMART GWは次世代型のセキュアゲートウェイソリューションです。ネットワーク間の中継に加えてアクセス制御、特権コマンド制御、特権ID管理、操作ログ管理を行います。



SMART GW Desktop Proxyの利用メリット

telnet/ssh/RDP/VNC/HTTP(HTTPS)のプロトコルに対応し、Windows系・Linuxの操作ログを一元管理します。

通信プロトコル

5つの通信プロトコルを利用し
さまざまな機器、サービスを制御可能！

Linuxの操作ログとWindows系の
ログを一元管理します！

実行コマンドを事前登録することで
定例業務の自動化や人的ミス排除も
絶大な効果を発揮します！

SSH

Telnet

RDP

VNC

HTTP(※)

※HTTP/HTTPS

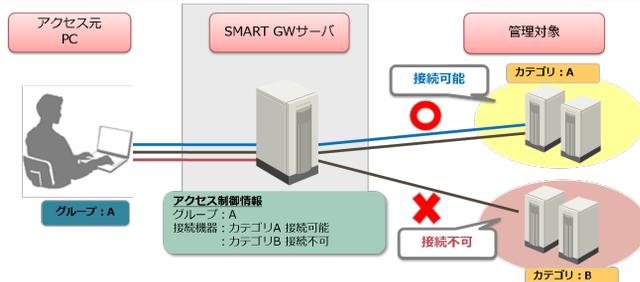
SMART GW Desktop Proxyの優位点

- ✓ 既存のシステム運用に影響を与えず導入可能
- ✓ 監視対象のOSを変更したり新しい機器へ入れ替えた場合でも、今まで通りの運用が可能
- ✓ 中小企業から大手企業まで、数多くの企業での導入実績

SMART GW Desktop Proxyの特長

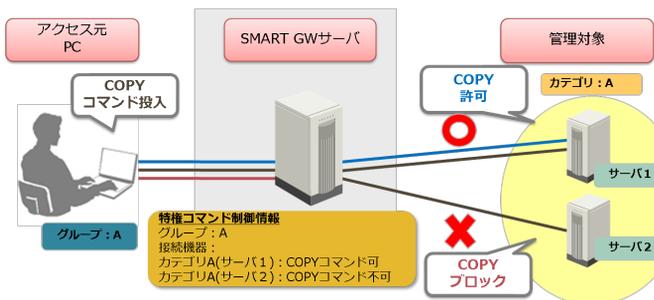
1. アクセス制御

ユーザグループごとに、接続可能な機器やプロトコルを制御します。必要最低限の権限を付与しアクセスコントロールをすることで、システムに対する直接的な不正を防止します。



2. 特権コマンド制御

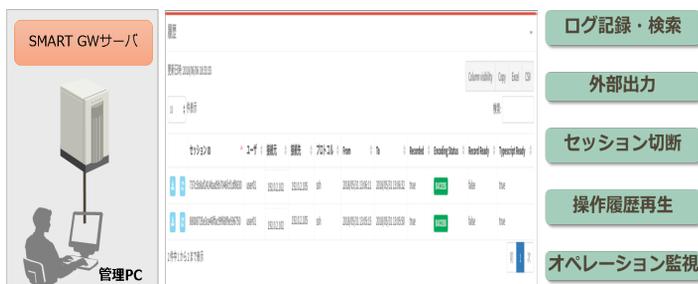
ユーザが接続可能な管理対象ごとに、使用可能なコマンドを制御します。許可されていないコマンドをブロックすることにより、不正や操作ミスを防止します。多数(数万・数十万)の管理対象に対しても、きめ細やかな設定が可能です。



3. 操作ログの管理

管理PCから管理操作画面へ接続し、不正行為の発見、またその前兆となる行為を検知します。

Windows系の画面操作、Linuxのコマンド操作を動画で記録し、不正やミスの追跡、不正やミスがなかったことの証明など、強固な証跡管理を実現します。



4. 特権ID管理

ユーザフレンドリーなWebコンソールから、特権IDを容易に管理します。ユーザごとにIDと適切な権限を付与し、いつ、誰が、どんな操作を行ったか特定可能な環境にすることで、不正行為を防止します。(統合認証基盤(LDAP, OAuth2)と連携可能。)



管理対象

サーバ	Windows Server(2016/2012 R2/2012/2008 R2/2008)、Linux
クライアント	Windows 10、Windows 8.1、Windows 7
ネットワーク機器	IOS、NX-OS、JUNOS等

動作環境

対応OS	Linux (CentOS 7.x, RHEL 7.x)
推奨環境	CPU : Intel Core i5 (コア数4) 以上 メモリ : 32GB以上 (同時接続数50) HDD : 利用環境による

商品・サービスに関するお問い合わせ・ご相談受付

ウェブによる受付

www.hitachi-solutions-create.co.jp/inq.html

お問い合わせページより、商品・サービスをお選びください。

メールによる受付

hsc-contact@mlc.hitachi-solutions.com

※ ご相談、ご依頼いただいた内容は、回答のため、当社の関連会社（日立ソリューションズグループ会社）及び株式会社日立製作所に提供（共同利用も含む）することがあります。取扱いには充分注意し、お客様の許可なく他の目的に使用することはありません。

※ 製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合がございます。
最新情報は、当社ホームページをご参照ください。
※ 本カタログに記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
※ 本カタログの内容は、2021年6月現在のものです。

株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

<http://www.hitachi-solutions-create.co.jp/>